

清流通信「四万十川物語」第26章 (H11.6.10)

送信者：高知県四万十川対策室

tel(088)-823-9795 fax(088)-823-9296 E-mail s14102@ken.pref.kochi.jp

5県の知事が四万十川に集合！！

～「四万十川シンポジウム」盛大に開催～

新緑の四万十川に、地方の変革に取り組む5県の知事が集い、これからの日本、地方のあり方を語る「四万十川シンポジウム」が、5月8日に四万十川最下流の中村市で開催されました。

会場には予定人数をはるかに超える700名が詰めかけ、月尾嘉男・東京大学教授コーディネーターのもとに、寺田典城・秋田県知事、増田寛也・岩手県知事、浅野史郎・宮城県知事、北川正恭・三重知事、橋本大二郎・高知県知事が語る「情報公開」「地方分権」「財政」「環境」「情報化」について耳を傾けました。

各県知事からは、「情報公開は、県政を住民と進めていくための重要な手段」、「環境問題は、土木や農林、商工分野等と併せて横断的に取り組むことが重要」など、次々に活発な意見が出されました。シンポジウムは予定時間を大幅にオーバーしましたが、率直な意見や意義深い提言に参加者はうなずき、時には笑いをまじえながら会場は熱気に包まれ、大盛況のうちに幕を閉じました。

また、奥様を伴われてのプライベートのひとつときには、四万十川を屋形船で下り、沈下橋近くの河原で地元の方々とともに、ウナギや手長エビといった四万十川の幸や藁焼き鰹タタキなどに舌鼓をうちながら、「自然と人のくらしが調和した四万十川」を、実感していただけたようでした。

※なお、このシンポジウムの記録は小冊子にまとめる予定です。

アカメ保護Tシャツ完成

中村市在住で、四万十川の保全活動に取り組んでいる西内燦夫(あきお)さんが、近年、乱獲でその数が減り幻の魚といわれる「アカメ」の保護を呼びかけるために、「釣りキチ三平」の作者である矢口高雄さんの協力を得てTシャツを制作しました。Tシャツの背中部分に釣りキチ三平のイラストがプリントされています。(図柄は2種類、色は白・紺) 1枚2千円で、収益金はアカメ保護ポスター製作費に使われます。

申し込みは、FAXで西内燦夫さんまで。

FAX(0880-35-3822)

四万十源流点トキドキ体験村」開催

～6/30まで参加受付中～

期間：7/27(火)～8/16(月) 20泊21日

場所：高知県立森林センター

対象者：3週間継続して参加できる小学校
4,5,6年生男女

募集人員：24名

参加費用：33,000円(食費及び布団代)

問い合わせ：四万十源流点トキドキ体験
村実行委員会(TEL0889-62-2258)

(高知県東津野村 教育委員会)



●シンポジウムの様子(中村市立中央公民館)

次章(7月10日発信)は、「よさこいエコ祭り」を予定。